

第一一回
川崎市定期能

能と狂言



能「鶉飼」九世観世鍔之丞
撮影：駒井荘介



能「清経」鶉澤 光
撮影：前島吉裕

第一部

狂言

昆布売
【こぶうり】

竹山 悠樹（和泉流）

12時30分開場
13時00分開演

能

清経
【きよつね】

観世鍔之丞（観世流鍔仙会）

◆平成29年9月9日（土）

◆会場：川崎能楽堂

◆入場料：各部 4,000円
（全席指定）
U25 3,000円

※経正面・中正面エリアのみ選択可。25歳以下の方、購入時に生年月日のわかる身分証明書をお持ちください。

第二部

狂言

因幡堂
【いなばどう】

野村 太一郎（和泉流）

15時00分開場
15時30分開演

能

鶉飼
【うかい】

鶉澤 久（観世流鍔仙会）

◆チケット発売日／平成29年8月2日（水）午前9時より川崎能楽堂窓口にて発売（先着順）＊残券があれば、同日正午より電話でも販売いたします。
◆チケット取扱・お問合わせ／川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37
◆受付時間／窓口・電話 9:00～17:00 ＊但し初日のみ電話受付は正午から。窓口完売の際は電話での受付はいたしません。

主催：（公財）川崎市文化財団 川崎市川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.044-222-8821／FAX.044-222-8817
＊開演後にご入場いただけない場合がございます。また、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。

清経と鶉飼を面白く見るための事前講座

◆日時：平成29年8月27日（日）11:00から 鶉澤 久（観世流鍔仙会・川崎市市民文化大使） ◆定員：148名（先着順）
◆会場：川崎能楽堂 三浦 裕子（武蔵野大学教授・同大学能楽資料研究センター長） ◆料金：無料

＊第111回川崎市定期能チケットご購入者が対象となります。＊受講をご希望の方にはチケットご購入の際に整理券をお渡しいたします。

狂言 昆布売 シテ昆布売 竹山 悠樹 アド何某 野村太一郎

能 清経

ツレ清経ノ妻 鶺鴒 光
シテ平清経 観世鏡之丞
後見 北浪 貴裕 大鼓 柿原 弘和
鶺鴒 久 小鼓 鳥山 直也 笛 一噌 隆之
地謡 青木 健一 馬野 正基
角当 長山 桂三 西村 高夫
直隆 柴田 稔

狂言 昆布売【こぶり】

供も連れずに自ら太刀を持つてでかけた大名が、供の代わりとして同行する人を得るため、休んで待つていと、そこへ若狭の小浜の昆布売が通りかかります。大名はすぐさま声をかけ、自分の太刀を持つてくれるよう頼みますが、なかなか承諾してくれない為……。下廻上の有り様を痛烈に描くとともに、小歌節・平家節・踊り節などの中世歌謡を取り込んだ売り声が、狂言ならではの楽しい曲です。

能 清経【きよつね】

都落ちした平清経の家臣淡津三郎（ワキ）が、筑前国柳が浦で入水した清経の形見の黒髪を持つて都に住む清経の妻（ツレ）の元を訪ねます。清経入水の顛末を聞いた妻は、自分を残して自殺するとはあまりだと嘆き悲しみます。遺髪を見るに忍びず涙ながらにまどろんでいると、夢のなかに清経の霊（シテ）が現れて妻に呼びかけます。妻が再び生きて姿を現さなかつた夫に恨み言を言うると、清経は敗戦の後に望みを失つて入水するに至つた心境を語り妻を納得させようとします。やがて清経は修羅道には墮ちたが、入水の際に唱えた念仏の功德によつて成仏できたと告げて消えてゆきます。

狂言 因幡堂 シテ夫 野村太一郎 アド妻 岡 聡史

能 鶺鴒

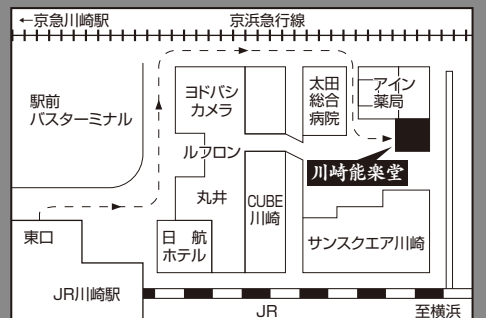
前シテ鶺鴒ノ尉 鶺鴒 久
後シテ閻魔大王
ワキ旅僧 館田 善博 大鼓 柿原 弘和 太鼓 大川 典良
ワキツレ旅僧 森 常太郎 小鼓 鳥山 直也 笛 一噌 隆之
アイ里人 岡 聡史
後見 西村 高夫 青木 健一 角当 直隆
観世鏡之丞 北浪 貴裕 地謡 長山 桂三 柴田 稔
馬野 正基

狂言 因幡堂【いなばどう】

大酒呑みの妻を持つ男が、妻の留守中に離縁状を送りつけ、新妻を得るために因幡堂の薬師へ妻乞いにやつてきます。腹を立てて因幡堂にやつてきた妻は眠つてゐる夫に「西門に立つた女を妻に定めよ」と偽のお告げを耳元で囁きます。男は神のお告げと思ひ込んで早速その出会うの場所へ行くと、そこには着物を被つた女が立つていて……。

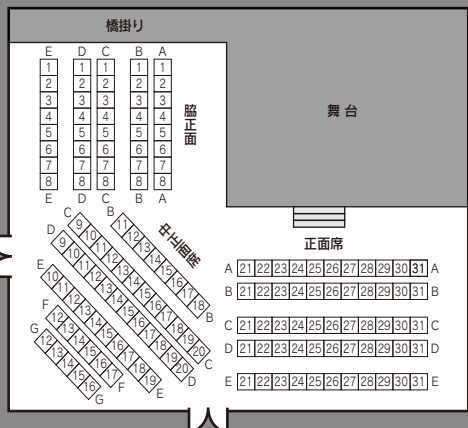
能 鶺鴒【うかい】

安房の国清澄の僧（ワキ）が従僧（ワキツレ）と共に甲斐国の石和川に着き、里人（アイ）に一夜の宿を乞うが断られ、仕方なく川の辺りの怪しげな御堂に泊まります。そこへ鶺鴒の老人が松明をかかげ、川を上ってきます。従僧が声をかけると、それは以前接待を受けた宿の老人でした。しかし今はずでに死んで地獄に墮ちている亡者であると言ひ、更には自分は禁漁区で漁をして見つかり川に沈められ殺されたと言語ります。そして懺悔の為に鶺鴒を使う様を見せよという僧の言葉に従つて、生前そのままに鶺鴒をして見せ、やがて闇の中に消えていきます。（中人）僧が川原の石一つ一つに法華経を書き、川に沈めて弔うと、地獄の閻魔大王（後シテ）が現れます。閻魔大王は、「あの鶺鴒は罪多く地獄へ墮ちるはずであったが、僧を摺持したことと法華経の功德によりこれから極楽浄土に送る」と告げ、法華経の有難さを讃えます。



JR川崎駅東口より徒歩5分
■アクセス(JR川崎駅まで)品川駅より約9分 横浜駅より約8分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
川崎能楽堂
〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995

川崎能楽堂座席表(148席)



※U25券は脇正面席・中正面席のみ選択可。

次回公演のお知らせ

平成29年10月21日(土)14時開演

狂言全集第9回

大藏流狂言山本家

第一・二回川崎市定期能

観世流梅若会

平成29年12月9日(土)

出演：山本東次郎、山本則俊 ほか

- 第一部 狂言「福の神」……三宅右近 ほか
- 能「百萬法師」……角当行雄 ほか
- 第二部 狂言「茶壺」……三宅右近 ほか
- 能「賀茂講」……梅若玄祥 ほか